

## 事業目的、事業目標、事業内容の記入例



### 2022 年度助成事業（通常募集）

本資料はより良い申請書を作成いただくための参考資料として、実際の助成事業の例をもとに、当財団にて事業目的・事業目標・事業内容の記入例を作成したものです。この通りのご申請をいただいても、必ずしも採択されるわけではありません。当財団の助成事業に係る支援の柱や審査の視点は [2022 年度助成金申請ガイド](#) をご参照ください。

### 事業目的（Google フォームの入力項目番号 56）

以下の 2 点について、社会的背景や解決したい課題を踏まえて 350 文字以内で記入してください。

- （1）本事業の実施によって団体が実現しようとする事
- （2）本事業の実施によって期待される波及効果

#### <最終目的>

難病の子どもが退院し自宅生活を始める時や、成長に伴いライフステージが変化する時、病気と闘う時等を含め、いつでも地域の連携先とともに切れ目ない相談体制や生活支援サービスが提供され、難病児やその家族が孤立せず安心して暮らせる地域となることを目的とする。

#### <中長期 ※3 年後>

多職種の連携および事例共有が進むことにより、東京都港区において難病児のいる家庭の半数以上が地域で孤立しない状態となる（家と病院以外に居場所が確保されている）。

### 事業目標（Google フォームの入力項目番号 57）

事業目的を達成するために以下の 2 点を明確にした上で、700 文字以内で記入してください。

- （1）1 年後の事業完了時点の到達目標（何をどういう状態にするのか？例えば、受益者にもたらされる状態や期待される状態や当初からの変化など）
- （2）（1）の事業成果を測定する際の根拠（どのように確認するのか？数量目標がある場合、どのような方法で測定するのか？）

#### 1. 多職種による事例検討会

- ・参加者同士による連携事例数の増加 検討会開始前と比較し 30%増（参加者ヒアリングにて調査）

#### 2. 地域交流イベントの実施

- ・参加者のうち新規参加家族数 10 家族以上
- ・一般参加者 参加者全体の 30%以上
- ・参加者の満足度 80%以上（参加者アンケートにて調査）

#### 3. 家族向け小冊子の作成配布

- ・配布協力先：20 ヶ所
- ・冊子による相談件数、イベント来場件数 50 件以上

## 事業目的、事業目標、事業内容の記入例

2022 年度助成事業（通常募集）



### 事業内容（Google フォームの入力項目番号 58）

助成金を使って行う事業・活動の内容を 700 文字以内で記入してください。どこで、いつ、誰を対象に何を行うのかが明確にわかるよう、記入例をご参照のうえ、必要項目すべてについて記入して下さい。また具体的な数字も含めて記入して下さい。

#### 1. 多職種による事例検討会

- (1) 時期：2022 年 5 月～2023 年 2 月（計 5 回）
- (2) 場所：東京都港区
- (3) 参加者：200 名（医療従事者、教育機関）
- (4) 内容：事例報告・検討、意見交換

#### 2. 地域交流イベントの実施

- (1) 時期：2022 年 7 月
- (2) 場所：東京都港区赤坂
- (3) 参加者：200 名（医療的ケア児、家族、ボランティア、一般参加者等）
- (4) 内容：関係団体の活動発表、地域企業の協賛によるワークショップ等

#### 3. 家族向け小冊子の作成配布

- (1) 内容：体験談、相談窓口およびイベント情報
- (2) 配布先：小児科病棟、交流サロン等
- (3) 部数：500 部

### 事業成果物（Google フォームの入力項目番号 59）

本事業で制作する予定の事業成果物（報告書、整備した物品の写真など）の名前、概要、および公開方法を 255 文字以内で記入してください。

1. 事例検討会報告（個人情報に配慮した上で当団体ウェブサイトに掲載）
2. 地域交流イベントチラシ（A4 版、1,000 部）、開催報告および写真（個人情報に配慮した上で当団体ウェブサイトに掲載）
3. 家族向け小冊子（A5 版、500 部）ダウンロード可能な形で当団体ウェブサイトに掲載